

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3 年 3 月 31 日

事業所名: クローバー

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		十分なスペースを確保している。	
	2 職員配置数は適切であるか	○		適切な人数以上を配置している。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		全体的にバリアフリー構造になっている。車いす等も入れる構造になっている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		衛生面に気をつけながら、環境面を設定できている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		定期的にミーティングを行い、共有できている。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		定期的にアンケートを取り、業務改善につなげている。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページにて公開している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	社会保険労務士や、外部コンサルタントと提携し、評価を基に業務改善を行っている。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		内外部での定期的な研修会や勉強会を実施している。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントシートを活用し、適切に計画を作成している。	
	11 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		アセスメントシートを活用し、適切に計画を作成している。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		利用者に合わせた計画を設定し、かつ具体的な支援内容を心がけている。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		計画に沿って、支援を行い、モニタリング等によって定期的に評価を行っている。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		定期的にミーティングを行い、共有できている。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		各事業所の情報を共有し合い、固定化しないよう心がけている。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		アセスメントやモニタリングを行い、子どもの状況に合わせて支援計画になるように心がけている。		

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日情報を確認し合い、支援内容等打ち合わせを行って支援を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終了後、振り返りを行い情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援記録を毎日必ず記入している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを実施し、計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか	○		積極的に参加している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関と連絡を取り合い、連携した支援を行っている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		主治医の先生と連携を取り合うなどして情報の共有を行っている。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報共有の提示があれば、個人情報に留意しながら情報の共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		情報共有の提示があれば、個人情報に留意しながら情報の共有を行っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		児童発達支援事業所含め、他福祉サービスと連携を図り、助言や研修を受けている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		保育所やこども園等の交流は感染症により今年度は実施できなかったが、感染対策をした上で実現させていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		積極的に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、または連絡ノート等を活用し、状況や課題の共通理解を行っている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	支援に対しての提案等を行っている。	感染対策をした上で、保護者会を行っている。

区分	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時にわかりやすく説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ガイドラインに則った支援計画を提案し、保護者からの同意を得ている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	アンケートやアセスメントを行い、相談に応じ、必要な助言を行っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	機会がなく、提案できていない。	積極的に情報収集をし、必要ならば提案できるようにしていきたい。
	36	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情、相談等があった場合は、迅速に対応し、記録をしている。また、定期的なミーティングにより、再発防止に努めている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		定期的に、子どもたちの活動の様子を見ていただけるような物を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		保護者様にも同意書をもらい、取り扱いには十分注意している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		子どもに合わせ、配慮しながら支援を行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民も参加できるような行事を考えていきたい。
	非常時などの対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを作成し、職員や保護者に周知できている。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回の避難訓練を実施している。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		個別対応シートを作成し、子どもに合わせた対応を行っている。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		個別対応シートを作成し、子どもに合わせた対応を行っている。	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ミーティングにて共有している。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		社内研修にて、虐待・体罰・身体拘束等について学ぶ機会を作っている。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		事前に保護者様に丁寧に説明し、同意を得た上で支援計画や身体拘束の記録に記載している。	